



NPO法人  
日本エコツーリズム協会  
会長 愛知 和男

## 開催にあたり

NPO法人日本エコツーリズム協会（JES）は、1998年にエコツーリズム推進協議会として誕生してから設立10周年を迎えました。2008年度は10周年記念事業として、10月に北海道洞爺湖、12月に東京都小笠原、2009年2月に滋賀県高島で全国エコツーリズム大会を開催しています。

そして、これらの大会の集大成として「NPO法人日本エコツーリズム協会設立10周年記念大会」を東京都新宿にて開催いたします。

JESは、エコツーリズムの啓発と健全な推進をはかるため、エコツーリズムに関する情報提供や人材の育成、関係者の継続的な意見交換の場となることを目的として設立されました。初代会長には兼高かおるさんに就任いただき、今日10周年を迎えるJESの基盤を築いていただきました。

この10年間で、日本における観光の位置づけは大きく変わり、観光立国推進基本法が施行され、観光は国策の一つに据えられました。そして、2008年4月には、エコツーリズム推進法が施行され、エコツーリズムは国が後押しするものになりました。法律という一つの形ができたことは、エコツーリズムの普及、推進に励んできたJESにとっても大きな成果だと感じています。

これを始まりとして、これからの10年に向けて私たちが暮らす地球という環境において、エコツーリズムが果たす役割とは何か、本大会を通して議論し、提言していきます。エコツーリズムは、地域、環境、観光、教育と多方面へ広がり、究極的には世界平和につながるものと確信しています。「エコツーリズムは地球を救う」、そのために今何が必要か、多くの皆様と共に考え、共有していきたいと思えます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## 基調講演者紹介



作家／財団法人 C.W.ニコル・アフンの森財団理事長  
C.W.ニコル

英国生まれ。17才でカナダへ渡り、海洋哺乳類の調査研究にあたる。1980年より長野県黒姫に居を定め、執筆活動を行う傍ら、自ら荒れた森を購入し生態系の復活を試みる。少しずつ買い足した黒姫の森を、故郷ウェールズの森の名前に因んで「アフンの森」と名づけ、2002年、財団法人C.W.ニコル・アフンの森財団を設立。財団では、森の再生と心の再生活動、人材の育成、国際交流などに幅広く取り組んでいる。

アフンの森は、エコツーリズムを学ぶ学生のためのフィールドにもなっており、森の維持管理や環境教育を実践し、既に700名を超す学生が実習を行っている。

2003年には、東京都エコツーリズム・サポート会議委員、2004年には環境省エコツーリズム推進会議委員を委嘱。2005年には、英国エリザベス女王陛下より名誉大英勲章を賜る。

# PROGRAM プログラム

※状況により内容は変更する場合がございます。分科会の会場は当日の受付にてご案内致します。

8:00 受付開始

9:00 ▼ 11:30	全体会議（第一部） 【会場：エミネンス】	<ul style="list-style-type: none"> <li>■開会式 主催者挨拶 NPO法人 日本エコツーリズム協会 会長 愛知和男 来賓挨拶 環境省、観光庁</li> <li>■基調講演 「美しい日本の森から未来を考える」 作家／財団法人 C.W.ニコル・アフンの森財団 理事長 C.W.ニコル</li> <li>■記念セッション 洞爺湖、小笠原、滋賀県高島大会の報告</li> </ul>	司会 NPO法人 日本エコツーリズム協会 理事 株式会社 カルティバート 代表取締役 開 梨香
--------------------	-------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------

分科会 1	<b>エコツーリズムによる地域おこしの実践</b> ～いかに参加し、いかに事業化するか?～ コーディネーター 阪南大学 国際コミュニケーション学部 教授 前田 弘 パネリスト 南信州観光公社 専務取締役 高橋 充 京都学園大学 バイオ環境学部 教授 中川重年 二戸市 市民協働部地域づくり推進課 副主幹 工藤正壽	分科会 6	<b>訪日観光とエコツアー</b> ～地域らしいおもてなしへの期待～ コーディネーター JES理事・プロマークジャパン 代表 小林寛子 パネリスト 観光庁 観光地域振興部 観光資源課長 水嶋 智 響庭里山の会 代表 響庭英隆 大鹿村エコツーリズムの会 代表 小林俊夫
	<b>エコツーリズム推進法の活用と課題</b> ～観光立国への道標とエコツーリズム推進法の活用を考える～ コーディネーター JES理事・サイバー大学 世界遺産学部 教授 高梨洋一郎 パネリスト 飯能市 エコツーリズム推進協議会 会長・獨協大学 経済学部 教授 犬井 正 慶良間自然環境保全会議 理事長 垣花武信 環境省自然環境局総務課自然ふれあい推進室長 岡本光之 観光庁 観光地域振興部 観光資源課長 水嶋 智		<b>エコツーリズムと子どもたち</b> ～地域教育とエコツーリズム～ コーディネーター JES理事・JTIC.SWISS 代表 山田桂一郎 パネリスト 海島遊民くらぶ(有)オズ 代表 江崎寛久 広島県廿日市市立宮島中学校 教諭 岡本純一郎 てしかがえこまち推進協議会 人財育成部会長 萩原寛暢
13:00 ▼ 14:25	<b>エコツアーガイドと起業</b> ～ガイド業はどうすれば「職業」になるか～ コーディネーター JES理事・屋久島野外活動総合センター 代表 松本 毅 パネリスト JES理事・株式会社 ビッキオ 取締役 楠部真也 株式会社 知床ネイチャーオフィス 代表 松田光輝 ネイチャーワークス 代表 平井和也	14:35 ▼ 16:00	<b>国際協力としてのエコツーリズム</b> ～エコツーリズムが世界平和に貢献するには～ コーディネーター JES理事・京都嵯峨芸術大学 芸術学部 教授 真板昭夫 パネリスト 独立行政法人 国際協力機構広尾センター (JICA地球ひろば) 所長 草野孝久 株式会社 パテコJICAボスニアヘルツェゴビナエコツーリズムプロジェクト 阪本日出雄 JES理事・大阪芸術大学 芸術学部 教授 下休場千秋
	<b>持続可能な観光</b> ～エコツーリズムを通じた保全はどうすれば実現するか?～ コーディネーター 共栄大学 国際経営学部 教授 高橋 進 パネリスト NPO法人 日本ガラパゴスの会 事務局長 西原 弘 NPO法人 霧多布温泉トラスト 理事 瓜田勝也 有限会社 リボン代表・NPO法人 エコツーリズム・ネットワーク・ジャパン 梶健健一郎		<b>環境問題とエコツーリズム</b> ～地球温暖化、生物多様性保全時代の観光として～ コーディネーター 江戸川大学 社会学部 教授 吉田正人 パネリスト コンサベーション・インターナショナル・ジャパン 代表 日比保史 JES理事・屋久島野外活動総合センター 代表 松本 毅 株式会社 JTB関東交流文化事業チーム 企画開発マネージャー 樋口誠司
分科会 4	<b>エコツアーは何故もうからない!?</b> ～エコツアー独自のマーケティング確立に向けて～ コーディネーター JES理事・株式会社 風の旅行社 代表 原 優二 パネリスト 有限会社 伊勢福 代表取締役社長 橋川史宏 JES理事・財団法人 阿蘇地域振興デザインセンター 事務局長 坂元英俊	分科会 9	<b>広がるエコツアー、問われる質</b> ～エコツアーの評価は必要か?～ コーディネーター JES理事・文教大学 国際学部 准教授 海津ゆりえ パネリスト インデシア ホテル・ジャーナリスト せきねきょうこ 株式会社 知床ネイチャーオフィス 代表 松田光輝 二戸市 市民協働部地域づくり推進課 副主幹 工藤正壽

16:30 ▼ 18:00	全体会議（第二部） 【会場：コンコード】	<ul style="list-style-type: none"> <li>■子どもエコツーリズムガイドからの提言</li> <li>■総括パネル討論 ■大会宣言採択 ■閉会式</li> </ul>	参加費：10,500円(個人会員・法人会員) 15,500円(会員外) 5,500円(学生) 当日、会員外の方でご入会を希望される方は、入会金及び初年度年会費無料にてご入会いただけます。 ※参加費には500円のカーボンオフセット料金が含まれています。
		司会 NPO法人 日本エコツーリズム協会 理事 株式会社 カルティバート 代表取締役 開 梨香	

18:00 ▼ 19:30	記念パーティー 【会場：コンコード】	<ul style="list-style-type: none"> <li>■立食</li> </ul>	記念パーティー参加費：8,000円(別途)
		司会 NPO法人 日本エコツーリズム協会 理事 プロマークジャパン 代表 小林寛子	